

# 第32回 福岡県文化賞



## 贈呈式&記念イベント

2024年12月15日 [日] 14:00—16:00 (13:30開場)

会場：アクロス福岡 4F 国際会議場

入場無料・要事前申込み

申込方法の詳細は裏面をご覧ください。※申込者多数の場合は抽選。申込受付期間：11月25日 [月]まで

【創造部門】

平出 隆

詩人／作家／造本家

【社会部門】

松崎 宏史

アーティスト・イン・レジデンス運営

【奨励部門】

江里 朋子

きりかね  
截金作家



「伊良子清白」



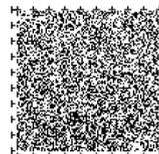
「Studio Kura」外観



截金飾箱『皓華 (こうげ)』



主催：福岡県、(公財) アクロス福岡、ふくおか県芸術文化祭実行委員会



音声コード：専用の読みとり装置により、紙面内容の音声出力ができます。

# Fukuoka Prefecture Culture Awards 2024

## 第32回 福岡県文化賞

本賞は、県民の幅広い文化活動を促進し、本県文化の向上・発展を図るため、芸術文化、地域文化、伝統文化、生活文化など様々な視点から県民の文化活動を多角的にとらえ、文化の振興に顕著な功績のあった個人や団体を表彰し、今後の活動を奨励するものです。

### 創造部門

## 平出 隆

詩人／作家／造本家



昭和47年、一橋大学在学中に詩誌「ユリイカ」に詩及び詩論を発表してデビュー。以後、自身でプライベート・プレス（版元）を構えながら、詩と散文にまたがる領域を切りひらかれている。これまでに数々の詩集や小説を執筆し、数多くの賞を受賞されている。平成21年には英訳された詩集「胡桃の戦意のために」で、アメリカの「最優秀海外図書大賞」を受賞されるなど、海外でも高く評価されている。小説「猫の客」は25カ国語に翻訳出版され、国際的ベストセラーとなった。

また、詩人・作家としてのほか、「郵便と一体化した本」を考案するなど、造本家としても活躍されており、平成30年にDIC川村記念美術館で「言語と美術——平出隆と美術家たち」展を開催。自装による「伊良子清白」は、「芸術選奨文部科学大臣賞」を受賞されるなど造本家としても高く評価されている。

さらに、平成22年の第2回「日中韓東アジア文学フォーラム」では北九州市での開催を発案、実行委員会副委員長として日中韓の作家の交流にも貢献された。平成22年からは小中学生を対象とした「あなたにいたくたくて生まれてきた詩コンクール」（北九州市主催）の最終選考委員を務めるなど、次世代の人材育成にも積極的に取り組まれている。

### 社会部門

## 松崎 宏史

アーティスト・イン・レジデンス運営



広島市立大学芸術学部油絵科卒業後、ドイツハノーヴァー専科大学に進学。ヨーロッパを中心に世界各地で展示を行い、各国各都市の「アーティスト・イン・レジデンス」にも参加される。平成21年に故郷である福岡県糸島市に、アートカンパニー「(株)Studio Kura」を設立。「糸島から世界に文化発信!」をモットーに、アーティスト・イン・レジデンスプログラムや美術教育、美術作品制作事業、地域の方を対象にした美術教室や、九州の幼稚園・保育園における出張教室などを開催されている。

実家の蔵で始まったこのアーティスト・イン・レジデンスは、現在では、糸島市に常時10人分の滞在部屋とアトリエを点在させ、毎年100人のアーティストを海外から集める日本最大規模のレジデンスと化している。

レジデンスを行ううちに、自然と面白い人が集まるようになり、また、地域の農家も興味を示すようになってきたことから、アートの力でみんなを集めることはできないかと、平成24年に国際芸術祭「糸島芸農」を開始。アートを媒体として、糸島の日常風景ともいえる食や農業などを表現し、地域と作家がともに作りあげていく芸術祭として地域に浸透し、新たな可能性を見出されている。

### 奨励部門

## 江里 朋子

截金作家



京都芸術短期大学卒業後、仏師の父と人間国宝である截金作家の母のもと截金作家の道を歩み始める。平成13年からは、夫の故郷である福岡に移住。母の技術を受け継ぎ、仏像や仏画の加飾荘厳として用いられる截金技術を工芸品や建築装飾に展開し、飾笥や茶道具、欄間装飾など截金の可能性を広げる魅力的な作品を創作し続けられている。

平成23年には、「日本伝統工芸展」に初出品した「截金飾箱『皓華』」で「日本工芸会新人賞」を受賞。平成31年には、「西部伝統工芸展」に出品した「截金飾笥『憧憬』」で最高賞である「朝日新聞社大賞」、令和6年日本伝統工芸展にて「日本工芸会奨励賞」を受賞するなど、多くの公募展において数々の賞を受賞されている。

平成31年には、九州歴史資料館において子ども向け截金体験講座を開催するなど、截金の世界を広く知ってもらう活動にも取り組まれている。

創作の拠点は福岡にありながら、京都で仏像作品にも取り組まれ、福岡と京都を行き来しながら創作活動を行うことについて、「温故知新/温故=京都、知新=福岡」に例えられ、京都で古いものから勉強をして、福岡でより新しいものを探っていくというバランスで創作活動を続けられている。



## 贈呈式&記念イベント 受賞者トーク&ライブ ~“つくる”の源を知る~

2024年12月15日 [日] 14:00—16:00 (13:30開場) 会場：アクロス福岡 4F 国際会議場 入場無料・要事前申込み  
ナビゲーター：仲谷一志 祝舞：三毛門子ども神楽

作品を創る、創る人の場を作る。ピックアップで宇宙が始まり、古事記には国生みが語られ、いつの世にもいるな“つくる”がある。

人はなぜ“つくる”を止めないのだろうか？記念イベントでは、受賞者の作品や活動を紹介してもらいながら、自身の“つくる”の原動力について語ってもらいます。



仲谷一志  
昨年度の「第31回福岡県文化賞」を受賞した劇団ショーマンシップの座長。芸歴40年の舞台俳優であり、多くの作品の制作・演出を手掛けている。また、テレビ・ラジオに多数出演し、特にラジオパーソナリティとしての活動は長くデビューから35年、現在も出演中。



三毛門子ども神楽  
豊前市の三毛門神楽講(国指定重要無形民俗文化財)の遺伝子を受け継ぐ「三毛門子ども神楽」は2007年に結成され、現在4歳から15歳の男女31名で活動。週1回の練習を重ね、神社奉納をはじめ、地域の催事や介護施設への慰問など、見応えのある神楽を披露し喜ばれている。

## 贈呈式&記念イベント申込方法

申込受付期間：11月25日 [月]まで。

インターネット（福岡県電子申請）、はがき、Eメールよりお申込みください。

申込者多数の場合は、申込受付期間終了後に抽選を行います。抽選結果については、11月27日 [水]以降に順次「抽選結果ハガキ」を発送します。

### インターネット（福岡県電子申請）

QRコードまたはURLよりお申込みください。

<https://shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/PqEm8B9S>



QRコードは  
(株)デンソーウェブの  
登録商標です。

### Eメール／はがき

○郵便番号○住所○氏名○電話番号○応募人数○車いす利用の有無（有の場合は人数）及び「福岡県文化賞記念イベント参加希望」と明記の上、お申込みください。※11月25日 [月] 必着

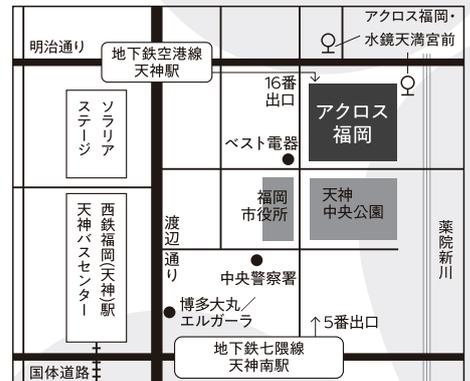
●宛先：〒812-8577【郵便番号のみ、住所は不要】福岡県文化振興課文化賞担当

●Eメール：bunshin@pref.fukuoka.lg.jp

主催：福岡県、(公財)アクロス福岡、ふくおか県芸術文化祭実行委員会

お問合せ：福岡県文化振興課文化賞担当

TEL：092-643-3382 / Eメール：bunshin@pref.fukuoka.lg.jp



会場：アクロス福岡 4F 国際会議場

福岡市中央区天神1-1-1

交通アクセス

●地下鉄空港線天神駅より徒歩5分(16番出口直結)

●地下鉄七隈線天神南駅より徒歩7分(5番出口)

●西鉄福岡(天神)駅より徒歩10分

●西鉄バス「アクロス福岡・水鏡天満宮前」バス停そば